

社会福祉法人 楽山会
椎の実子供の家
平成28年度 事業報告

「子ども子育て支援新制度」と「待機児解消」を目標に掲げ、都内では多くの保育園、幼稚園、こども園が増えている。そのような中、当園は伝統を重んじながらも新制度を念頭に入れ、乳幼児期の養護と教育にしっかりと取り組んできた。また前年度に引き続き、より社会のニーズに対応した保育園のあり方を、第二椎の実子供の家と合同でプロジェクトチームを立ち上げて調査・研究した。チーム構成はリーダー層を中心にし、8施設を訪問調査した。先進保育園視察結果を報告し合う等、園舎建替えに向けて2園全職員間で意識の一体化を図った。

平成28年度 重点目標

- I 生活や遊び、運動を通して「生きる力」を育む保育の推進
- II 人材育成のための階層別研修計画の実施
- III 衛生管理、安全管理の周知及び徹底
- IV 地域活動の取り組み及び地域子育て支援の充実
- V 椎の実子供の家園舎建替事業

I 生活や遊び、運動を通して「生きる力」を育む保育の推進

保育計画を立てるにあたり、子どもと生活や遊びを共にする中で一人ひとりの子どもの心身の状態を把握しながら、その発達の援助を行うことができるよう、発達及び生活の連続性に配慮した保育を行った。生活や遊び、運動を通して総合的に保育を進め、健康な体づくりに力をいれた。このことで、自分を取り囲む事象や人に関心を持ち、心身共に調和ある人格形成へと繋げることができた。

また保育の中に囲碁を取り入れた。ルールがある遊びを好み競争心を発揮し、好反応であった。また回を重ねるごとに、対戦前にはきちんと「お願いします」の挨拶を自分たちから行うようになっていった。

II 人材育成のための階層別研修計画の実施

当年に策定した「椎の実子供の家、第二椎の実子供の家 研修計画」に基づき、職種、職責、経験等にあわせた外部研修へ積極的に参加することができた。

内部研修充実のため、新たな取り組みとして、4月には管理職による「モンテッソーリ教育について」「保育記録」に関する研修を両園合同で実施した。

平成27年度に引き続き、クラスリーダーがよりリーダーシップを発揮できるように、リーダーに求められている役割を、階層別研修計画で明確にした。またOJTの取り組みの中で、リーダーとしての業績目標、実施計画を作成し、実施結果や振り返りを記入する書式を活用して、計画的な業務推進、指導育成に努めた。その振り返りを自己評価に役立てるようにした。

職員一人ひとりが明確な目標に向かって職務を全うし職責を果たしていくために、上位者に

よる1対1のOJTを実施し、これからの保育園を担う人材として成長していけるよう、指導していく体制を継続した。前年度以上に、各リーダーに「人を育てよう」という気持ちが高まっており、今後も持続させていきたい。

また保育力の向上をねらい、11月からは臨床発達心理士による発達相談を行った。保育士が特性のある子ども、発達に課題のある子どもへの適切な援助方法を学び、職員全員が一貫した対応ができるよう必要な援助方法を学び、実践した。その他大学講師を招き保育や食育の質を高める講座を開催した。

両園での公開保育は1歳児クラス、2歳児クラス、幼児クラス別に3回実施した。適度な緊張感を持ちながら、実施計画に沿った保育を行うことで、保育の配慮事項の再確認や振り返り、保育の質の向上を図ることが出来た。また、両園の保育内容、環境等による保育の相違に気づき、保育士の資質向上にも繋がった。

Ⅲ 衛生管理、安全管理の周知及び徹底

施設内の環境を常に適切な状態に保持するとともに、保健的環境の維持及び向上に努めた。

安全については事故防止マニュアルや安全点検表の見直しを行い、早めに異常や破損に気付いたため、全職員で情報の共有を行った。その結果、大きなけがにつながる事故はなかった。

災害に対しては「大災害も含めた防災マニュアル事業継続計画（BCP）」を作成し、防災の日に行う研修会で全職員に周知を図った。また自然災害や思わぬ事件、事故に備え保護者に対し子どもの身の安全について素早い対応をすることで安心感を持ってもらえるよう、「メール等一斉配信システム」を導入し、実際に9月1日の園児緊急引き渡し訓練においても、配信利用を行った。

Ⅳ 地域活動の取り組み及び地域子育て支援の充実

地域の子育て支援として子育て家庭に対し配布していた「しいのみクラブニュース」は園庭開放などで配布、当園ホームページに掲載した。入園を意識した見学者にも、「しいのみクラブニュース」をお渡しすることで、興味を持ってその後も遊びに来ていただくことができた。「高齢者との交流」や「小学生との交流」、「地域親子のサークル活動の支援」はこれまで大切にしてきた特徴ある事業として継続して行うことができた。地域の皆さんに喜んでいただけるとともに、園児の経験の幅が広がった。

土曜日の一時的保育について、本園と第二椎の実子供の家の職員が連携して行った。

Ⅴ 椎の実子供の家 園舎建替事業

園舎の建替に向けて、拡張用地の取得を実施した。また両園職員により、園舎建替プロジェクトチームの活動を継続した。当年度は施設見学を8箇所行った。平成28年9月には公益財団法人社会福祉振興試験センター主催のドイツ、フィンランドへの13日間の海外研修に、保育士1名が参加した。海外における民間社会福祉施設や、そのサービス、方法、技術、モンテッソーリ教育などを視察すること、他園の参加者との交流により、多くの刺激を受けるとともに、園舎建て替えの際、取り入れたい環境などを学ぶことができた。これらの活動結果につい

では、平成29年1月15日に合同研修会を開催し、研究成果の発表を行った。その後、全職員にアンケート調査を実施し「あなたがつくる理想の保育園」について、より具体的な構想へとつなげた。

1 園児について

園児とクラス編成

(1) 定員90名（現員98名）

(2) 年齢別

- ① 0歳児 9名 ② 1歳児 16名 ③ 2歳児 18名
- ④ 3歳児 18名 ⑤ 4歳児 18名 ⑥ 5歳児 19名

(3) クラス編成と職員構成

クラス名	対象年齢	定員	在籍数	保育士	職員数
たんぽぽ	0歳児	9名	9名	3名	園長 1名 副園長 1名 保育士 16名 看護師 1名 栄養士 1名 調理員等 2名 非常勤職員 15名
すみれ	1歳児	16名	16名	4名	
つくし	2歳児	18名	18名	3名	
あんず1組	3歳児	9名	9名	2名	
	4歳児	9名	9名		
	5歳児	9名	9名		
あんず2組	3歳児	9名	9名	2名	
	4歳児	9名	9名		
	5歳児	10名	10名		
合計		98名	98名	14名	
一時預かり		4名		2名	37名

保育士16名中、1名が9月末で退職となった。